

(2) 対面授業では どう活用するのか

リード真澄

(2)対面授業でシャドーイングをどう活用するか？

シャドーイングに
使った教材

シャドーイング
導入例



高校の授業における
シャドーイングの実践・経験

(対面)授業で
大切な点

シャドーイングに使った教材

「Shadowing 日本語を話そう！」

Unit 1 section 2

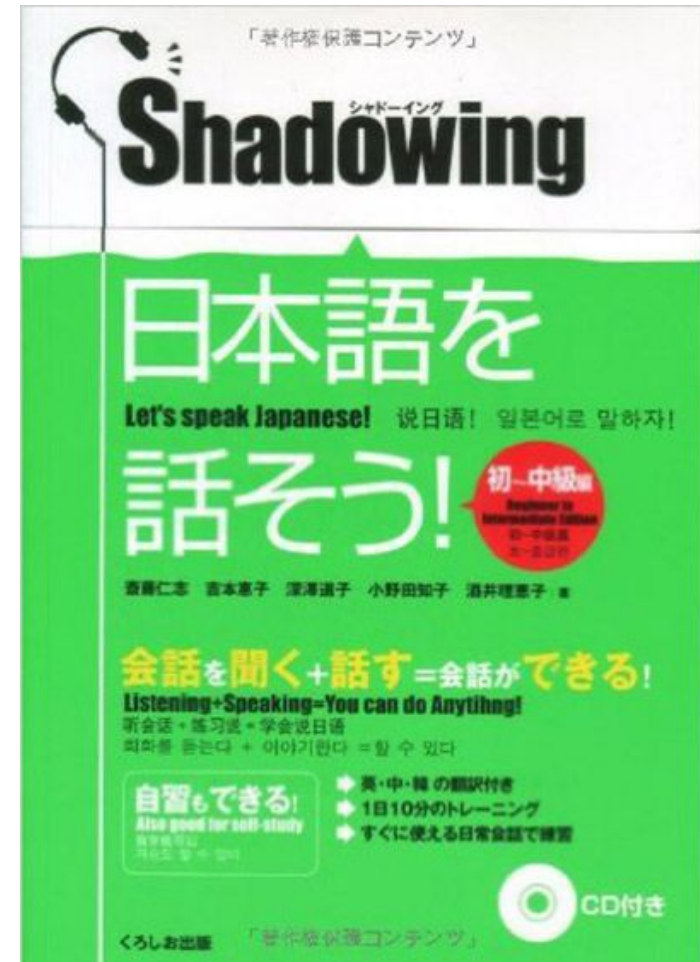
A: 先生、おはようございます。

B: おはよう。

A: お先に失礼します。

B: おつかれさまー。

すぐ
言えました！



シャドーイングに使った教材

舌切り雀*(初級) レベル1

耳なし芳一(中級) レベル3

蜘蛛の糸(中級) レベル2

授業で学習中の教材から離れてリフレッシュ
日本の昔話や有名なストーリーに触れる機会



第2部
第7章 学習者へのサポート
*人形劇(モチベーションを上げる)
(p.141～)



シャドーイングの教材(例)

第二部 シャドーイングの授業実践

第一章 教材の選び方(1)

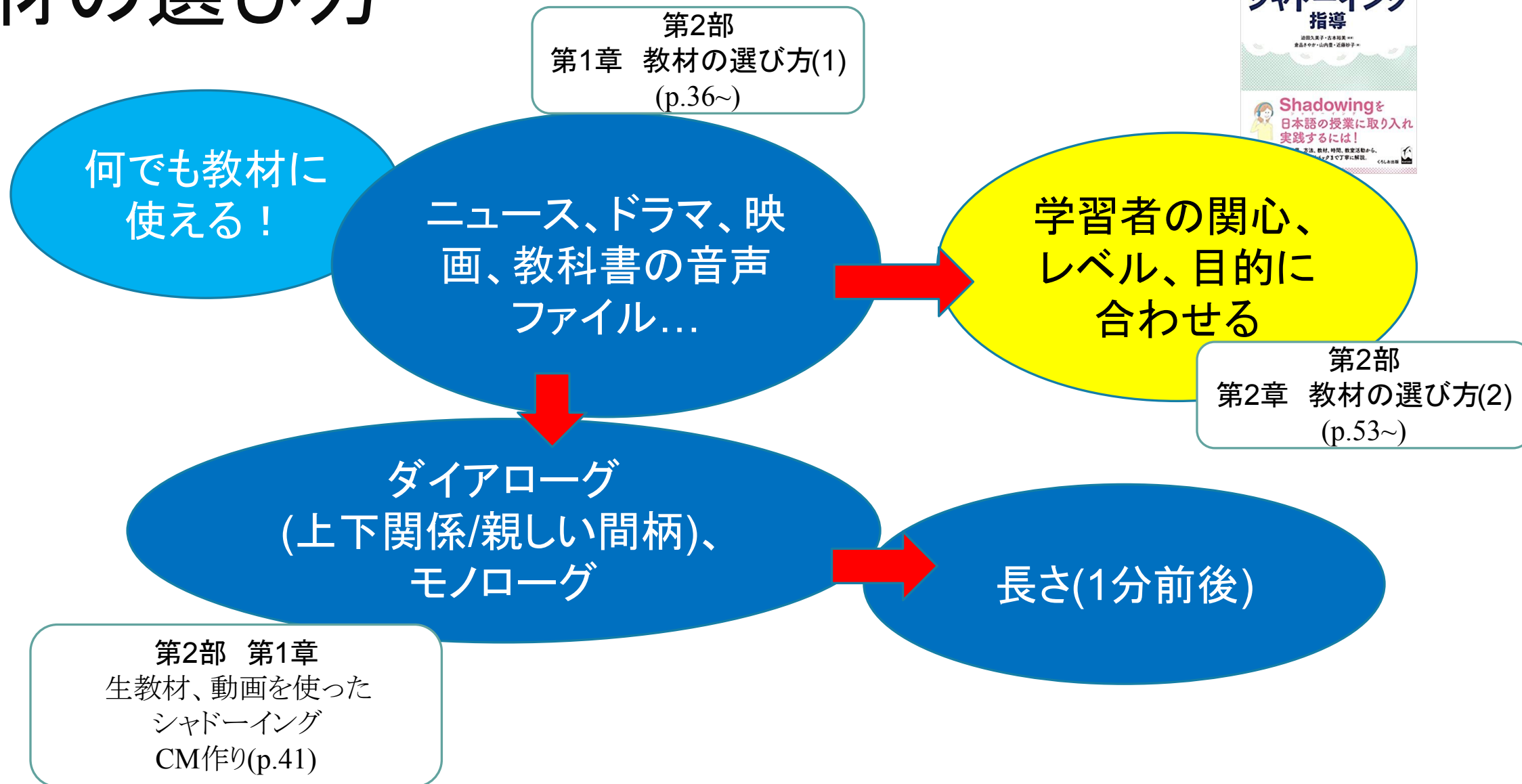
ー素材の種類・長さ・音声ー(p.36～)

第二章 教材の選び方(2)

ーレベル・難しさー(p. 53～)



教材の選び方



90分授業のはじめの5～10分

同じ教材を
5回～10回ほど使用

学生のレベルに対応
シャドーイング
テキストを見ながら



会話の教材
(Shadowing 日本語を話そう!)
ダイアログ: ペアで練習
(話しているように見える)

ストーリー
(モノローグ)の教材
読解を経てシャドーイングへ。
ストーリーの
ナレーションができた!

シャドーイングの導入(例)

リスニング

シンクロ・
リーディング

テキストを読む
(語彙表現確認)

第2部
第3章 シャドーイングの
練習方法 (p.60~)



マンブリング

サイレント
シャドーイング

プロソディ
シャドーイング

コンテンツ・
シャドーイング

シャドーイングの導入(負荷が小さい場合)

学習者にとって易しい教材

リスニング



コンテンツ・
シャドーイング

授業におけるシャドーイングの重要点

授業(90分)は毎回5～10分のシャドーイングから始めた。



①習慣化



授業におけるシャドーイングの重要点

初級の学習者にとって、表現したい内容を日本語にするのは困難だが、ペアで会話のシャドーイングをすると、二人で話しているように楽しそうに「演じる」学習者もいた。



②楽しい
活動に

授業におけるシャドーイングの重要点

学習者(JFL)は、教室外で日本語を使う機会がない上、授業中も積極的に日本語を使う学生が少なかったため、少しでも日本語でのアウトプットをさせる上でシャドーイングは役立った。



③アウトプットの機会

授業におけるシャドーイングの重要点

5-10回の授業の後、評価。

カリキュラムの一部であることを学生に理解してもらう必要。

モチベーションを下げない工夫

評価と
フィードバック



第2部
第5章・第6章 シャドーイングの評価
(p.108~)



第二部 シャドーイングをやってみよう

シャドーイング体験コーナー



順番は教材や
レベルにより検討

①テキスト
意味・要旨の確認/
読解

②リスニング

③シンクロ・
リーディング
音声を聞きながら、
テキストを音読
(ミュートで)

④マンブリング
(ミュートで)

⑤コンテンツ・
シャドーイング
話の内容・意味に
集中しながらシャドーイング
(ミュートで)

⑥プロソディ・
シャドーイング
発音やアクセントに
集中して行うシャドーイング
(ミュートで)

シャドーイングをやってみよう①

テキストを読んで意味を確認しましょう。

意味・要旨確認
読解

100万人以上
の子供たち

Over one million children in the United States
do not go to school. Instead, they learn at home.

Most often their parents are their teachers.

親が教師

教材の提供

For example, educational companies, libraries and the internet
provide many families with teaching material.

Other parents create teaching methods to meet the
needs of individual children.

個人のニーズ
に合う方法

出典: 鳥飼玖美子(2003)『はじめてのシャドーイング』

シャドーイングをやってみよう②

次に、聞いてください

リスニング



ホームスクール

出典: 鳥飼玖美子 (2003)『はじめてのシャドーイング』

シャドーイングをやってみよう③

シンクロ・リーディング 音声を聞きながら、テキストを音読
(ミュートをお願いします)

More than one million children in the United States do not go to school. Instead, they learn at home. Most often their parents are their teachers. Educational companies, libraries and the Internet provide many families with teaching material. Other parents create teaching methods to meet the needs of individual children.



出典: 鳥飼玖美子 (2003)『はじめてのシャドーイング』

シャドーイングをやってみよう④

マンブリング
(ミュートにしてください)

小声で、ぶつぶつ



正確に言えなくても
構いません！

シャドーイングをやってみよう⑤

コンテンツ・シャドーイング (ミュートをお願いします)

意味に集中しながら
シャドーイングを
してみてください。



出典: 鳥飼玖美子 (2003)『はじめてのシャドーイング』

シャドーイングをやってみよう⑥

プロソディ・シャドーイング

発音・アクセント・
イントネーション
などに集中して行う
シャドーイングです。



英語のシャドーイングでは、
プロソディ・シャドーイング
が大切です



出典: 鳥飼玖美子(2003)『はじめてのシャドーイング』

いかがでしたか？

第2部
第2章 教材の選び方(2)
学習者が感じるシャドーイングの
難しさ(p.55~)

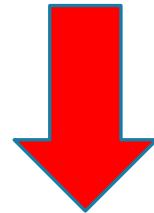


スピードが
速い

難しい
(内容)

聞き取れ
ない

口頭再生が
追いつかない



同じ教材を
何回も聞く

最初は一時停止
ボタンを
押しながら

声に出さず、
唇だけ動かす
(サイレントシャドーイング)

教材のスピードについて

教科書の付属CDはシャドーイングに使うにはスピードが速い。

アプリを使って速度を遅くして使うことがオススメ。

分科会で、スピードを遅くするアプリについて。古本先生からお話があります。

